

Nice Town
Good People

こんにちは 町会です



中央区

第9号



国際交流のつとめ文化発表会にて
浜町音頭を披露

大江戸まつり盆踊り大会で
せくらの節で並ぶ浜町音頭保存会



まちの人々の踊舞台 神田祭



両国橋のたもとでの観月会



四百年の歴史を誇る
船渡り

いきいき町会拝見！ まちの文化とみんなの笑顔



「タテ長屋」の住民の集い、
和気あいあいと話が弾む



下町っ子の温かい人情が残る
「タテ長屋」



小江戸・川越の「時の鐘」を訪れて



日本が誇る建物の一つ、
旧岩崎邸の前で



さあ、あなたも、
町会・自治会活動に
参加しましょう！

私たちのまち中央区は、江戸以来四百年にわたり、文化・商業情報の中心として栄え、下町特有の温かい人情による連帯と助け合いによりコミュニティを形成してきました。今日において、常に時代の最先端をゆく中央区は、首都東京の中心で小さくともキラリと光り輝くまちとして二十世紀の日本をリードするまちづくりを進めています。しかし、時代は移り変わっても江戸っ子の暮らしの中に息づいた伝統やなりわいなどは、今そこに住む人々によつてしっかりと受け継がれています。

町会・自治会では、地域に古くから伝わる伝統文化やまちの素晴らしさを次代を担う子どもたちや地域の人々に伝え広める活動を行っています。昔から風情ある行事として地域の人々に親しまれ、今ではまちの住民に限らず参加できる月見の会を催したり、地元へ伝わる踊りを通して、昔からの住民と地域で新たな生活を始めた住民との心を結びつけたりなど、その活動もさまざまです。

また、町会・自治会は、地域文化活動をはじめ防災・防犯活動、住民同士の親睦・交流活動などさまざまな活動を行っています。「こんにちは町会です」ではこれから町会・自治会活動の一端を紹介し、広く皆さんに知っていただくことで、現在未加入の方が新しく町会・自治会に関わっていただければと考えています。また加入されていない方は、お近くの町会・自治会にぜひ、お声をかけてみてください。さあ、あなたも地域の活動に参加し、地域住民みんなの力にきつくと心づかれ、あつ活力ある地域コミュニティを創っていきましょう。



銀座四丁目共和会

銀座の品位を守りたい！
「銀座命」に賭ける熱い情熱

銀座四丁目共和会事務局長 吉田 明さん



銀座の「品位」について語る吉田さん

銀座四丁目共和会は世界的なブランドである、銀座の中心として中央に位置する町会です。事務局長の吉田さんは、「このまちの良イメージを大切に継承していきたい」と話されます。会員のほとんどが法人店舗（という銀座四丁目共和会では「お客さまが訪れるまち」であり続けるために、銀座の「品位」を守ることを念頭に、さまざまな活動を展開しています。その代表的な活動であるクリーン活動について吉田さんは次のように話されます。「月に一度実施するクリーン活動では「みやはら」の吸殻の除去が、捨て禁止促進などを行っています。



オリジナルの駐輪・駐車警告ステッカー

最近銀座で特に問題となっている違法駐輪・駐バイクやのみ出し看板は歩行者にとって危険であるばかりでなく、まちの美観を損ねるもので、そこで警告ステッカーを貼って、持ち主に違法であることと自覚させ、速やかに撤去するよう促しています。のみ出し看板については警告後も改善されない場合、町会がハコルルする際に警察官にも同行してもらい、その場で責任者に撤去してもらい、その場でも「また、何か社会貢献できないか」といつか始めたのが、十年以上前から続けている銀座四丁目支部主催の「母の日チャリティファンデーション」です。参加者には百円以上の寄付をいただき、銀座通りに面した協賛店舗でスタンプを集めてもらいます。すべてのスタンプを集めると、アンパンマン人形がもらえるこのイベントは、昨年も口「三」での参加者やリピーター、買い物客など、大勢の参加者がありました。集められた寄付金は、交通事故で親を亡くされた子どもたちのために寄付されたそうです。「忙しい時間の合間をぬって町会活動や親睦会にも積極的に参加してくれる会員には本当に頭が下がります」と吉田さん。会員に共通する「銀座命」という強い思いがこのまちのきずなをさらに深めているようです。

築地地区
浜離宮自治会

広報紙「e KAZE」で情報発信！
地域発展の追い風に

築地浜離宮地区自治会会長 関口敏幸さん
築地浜離宮地区自治会事務局長 小山 明さん



昭和50年から地域社会のために活動を続けていた関口さん
事務局長として会長を支える小山さん

「e KAZE」は平成15年11月に創刊し年3回発行



本年、月結成十周年を迎えた築地浜離宮地区自治会は、上場企業、官公庁、新聞社、築地市場などの法人が会員に名を連ね、皆さんまちを良くしたいという強い意欲を持っています。会長関口敏幸さんは、「自治会の活動を目的に見えぬ形で紹介したい、地域への情報提供の場にし、という目的で広報紙「e KAZE」を年三回発行しています」と話されます。「e KAZE」とは、会員に「eメール」でも送付していること、このまちに「いい風」を吹かせたいという思いから名づけられました。「e KAZE」の主旨は、近隣の官公庁の方の寄稿や、地域の方の関心が高いテーマを取り上げることです。と事務局長の小山さん。これまでに、交通事故の多発地点である汐立橋交差点の改善、環状二号线がまちに与える影響、築地市場の移転問題などを取り上げてきました。また、近隣のお店やイベントの紹介、プレゼントコーナーなど、会員の皆さんの役に立ち、楽しめる情報も満載です。紙面八ページにもわたって興味深い内容が盛りだくさんの「e KAZE」は、上場企業に勤務する編集スタッフ、自分の仕事の合間をぬって作成し、時には休日の作業になるなど、苦労があるそうです。最後に関口さんは次のように話されました。「商業都市、ウォーターフロント、緑の浜離宮を抱えるこのまちを、日本に誇りのあるまちにするのが私の願望です。会員の皆さんが共通の目的を持って団結するには大変な努力が必要ですが、「e KAZE」が地域の連帯を深めるとともに、会員の結びつきを強めるきっかけとなれば幸いです」

日本橋二丁目町会

防災活動を通じた健康づくり！
「江戸の路ゆつたりウォーク」

日本橋二丁目町会会長 清水貞男さん
日本橋二丁目町会副会長 齋木政宏さん



「皆さんに参加意識を持っていただくことが大切」と清水さん
「イベントで会員の親睦が深まります」と齋木さん



ウォーキング受付風景

日本橋二丁目町会では、会員の方の防災意識を高めるためのイベントとして、江戸の路ゆつたりウォークを開催しています。このイベントは、災害時の避難路や障害物となりそうなものを確認しながら、自分たちのまちの安全性を改めて認識するとともに、会員相互の親睦と健康の増進にも貢献しているそうです。「ウォーク」は、日本橋二丁目から永代通り、内堀通りなどを経て皇居に到着後、皇居周歩歩組」と大手門・皇居見学組」に分かれ、それぞれウォークや見学を楽しみ、皆で出発地点に戻ってくるというものです。毎年九月の帝王曜日、日本橋二丁目東町会、日本橋三丁目東町会と合同で開催し、昨年で三回目を迎えました。参加者には家族連れが多く、「災害が起きた際の行動を考えると、汗をかく良い運動になった」「まちの風景の変化など新たな発見が」と話されます。現在、月に一回行っている清掃活動「クリーンデー」には、法人の方も多く参加しているそうです。会長は「エアマランなので、法人の方にも安全で暑らないうち地域づくりを目標として、いろいろなイベントを考えています」と齋木さん。清水さんは、「今後は、まちの法人や新たに住民となる方と協力し、日本橋ブランドを生かして地元、江戸もみじ通り、で植木市や陶器市などを行ってみたいですね」と話されました。



いい活動、イベント

日本橋三丁目西町会

会員との新たな架け橋に！
町会ホームページが誕生

日本橋三丁目西町会会長 窪田新一郎さん

日本橋三丁目西町会会長の窪田さんは、会員の方々に、活動情報を提供することも、皆さんの声にできるかぎり耳を傾けたい。そんな思いから、町会のホームページを開設しましたと語られます。

「ホームページは、地域広報としての情報発信と風通しの良い町会運営を目的に、その有効的な手段の一つとしてホームページの立ち上げを計画しました。まずはじめに手がけたのは、会員のお店や企業、病院などのご紹介です。ホームページに掲載すればこのまちを訪れる人々のPRにもなり、会員であることのメリットを感じてもらえるのではないかと、二十件ほどが掲載されており、今後も掲載店を増やそう計画です。」取材や原稿の作成は大変ですが、会員に喜ばせようという思いを感じますと話される事務局の外記さんと服部さん。



前列(左) 会長 窪田さん、(右) 外記さん
後列(左) 服部さん、(右) 野田さん



日本橋三丁目西町会ホームページ
http://nihonbashi.noblog.net/

「情報提供やコミュニケーションの場はいくつあってもいいと思います。ホームページによる広報は可能性がいっぱい。まだまだこれからやってみてほしいと、窪田さんは目を輝かせながら話されました。」

「これが担う重要な役割の一つです。危機管理対策リーダーの野田さんは、「この町会は昼と夜の人口格差が大きく、昼間に災害が起きた場合、百貨店来場者や通勤者などが六、七万人であるのに、会員の数はわずか百人程度です」と分析されます。そのため、町会では、災害が起きたらどうするかを、日々このまちの人たちを知っていく、そして考え、帰宅支援情報や防災用品、備蓄食料などの防災活動情報の掲載も検討しています。」

「情報提供やコミュニケーションの場はいくつあってもいいと思います。ホームページによる広報は可能性がいっぱい。まだまだこれからやってみてほしいと、窪田さんは目を輝かせながら話されました。」

「情報提供やコミュニケーションの場はいくつあってもいいと思います。ホームページによる広報は可能性がいっぱい。まだまだこれからやってみてほしいと、窪田さんは目を輝かせながら話されました。」

区立晴海住宅自治会

ようこそ晴海へ！
オランダ人留学生と日蘭交流の第一歩

区立晴海住宅自治会副会長 萩原 勇さん



「区立晴海住宅自治会は、昨年三月から七月までの間、三人のオランダ文部省派遣の留学生を迎え入れ、この受け入れは、中央区の紹介により区内に事務所を持つ財団法人日蘭学会の要請に応えたものであり、留学生たちは、区が用意した部屋に居住していました。」



クリーンデーで掃除に励む留学生

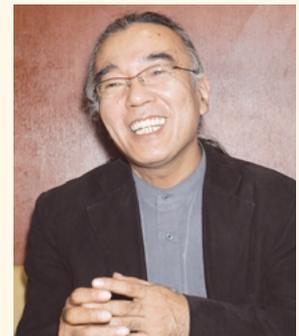
「区立晴海住宅自治会は、昨年三月から七月までの間、三人のオランダ文部省派遣の留学生を迎え入れ、この受け入れは、中央区の紹介により区内に事務所を持つ財団法人日蘭学会の要請に応えたものであり、留学生たちは、区が用意した部屋に居住していました。」

アーバンタワー自治会

近所づきあいが健康のもと！
講習会で一歩前進

アーバンタワー自治会会長 梶塚 潤さん

「アーバンタワー自治会は、昨年四月の設立以来、今年四月で二年が経ち、現在では約二百五十名の会員を抱えています。会長の梶塚さんは、自治会設立のきっかけを次のように話されます。「平成十六年十月に発生した新潟県中越地震の被災を伝える報道の中で、震源から遠く離れた都内の超層住住宅のトキターが止まり、住民の生活に大きな支障をきたしていました。その様子を見た多くの方が、住まいが空の孤島と化した時には、同じ建物に住む人同士が一致団結して災害に立ち向かわなければならぬ」と考え、皆で自治会設立のための相談を始めました。」



「心の安らぎは地域のコミュニケーションから」と語る梶塚さん

「アーバンタワー自治会は、昨年四月の設立以来、今年四月で二年が経ち、現在では約二百五十名の会員を抱えています。会長の梶塚さんは、自治会設立のきっかけを次のように話されます。「平成十六年十月に発生した新潟県中越地震の被災を伝える報道の中で、震源から遠く離れた都内の超層住住宅のトキターが止まり、住民の生活に大きな支障をきたしていました。その様子を見た多くの方が、住まいが空の孤島と化した時には、同じ建物に住む人同士が一致団結して災害に立ち向かわなければならぬ」と考え、皆で自治会設立のための相談を始めました。」



「生活習慣病対策講習会」風景。みんな真剣

「生活習慣病対策講習会」風景。みんな真剣

銀座八丁目町会

まちの魅力再発見！江戸文化のつながりを求めて

銀座八丁目町会会長 山岡保之助さん

銀座八丁目町会では、会員の皆さんが江戸文化と東京近郊の文化との結びつきを通じて、自分たちのまちの魅力を感じると同時に、互いの親睦を深めるための企画として、「カルチャーウォーク」を開催しています。



平成16年11月実施の谷中界隈巡り

このイベントは、近郊各地の寺社や美術館などを巡り、昼食時に見学した名所旧跡について、クイズを出題し、それを解くうちに、参加者が江戸文化と訪れ

「カルチャーウォーク」実施内容

Table with 2 columns: 実施日 (Implementation Date) and 行き先 (Destination). It lists various cultural and scenic spots visited over time, such as the Utsunomiya Shrine and the Tama River.

解し、自分たちが住むまちの素晴らしさを知ることができようとしているそうです。

参加者の知的好奇心を満足させ、互いの親睦を深めるとともに健康の増進にも役立つ、良いとつづめ、この企画は、毎回大勢の方が集まる町会きつての人気行事となりました。



みんなで受け継ぎ伝えたい！

江戸の伝統文化と下町情緒



佃パーシィ町会

「タテ長屋」にみる横の連帯！下町文化が脈々と息づくまち

佃パーシィ町会副会長 北條恒光さん

佃パーシィ町会には、隅田川沿いの集合住宅のうち、最初に建てられた超高層集合住宅と佃公園に面した集合住宅の棟



会員の結びつきを強める野外イベント

「タテ長屋」が成立した要素として、お風呂の存在があげられます。佃パーシィ町会の集合住宅には、風呂とサウナやジャムールなどが併設されており、設立当初は住民が無料で利用できました。特に、朝七時

かのように、跡地にある集合住宅には、住人同士のきめが希薄と言われる他の集合住宅とはひと味違う、下町の温かみや人情が残っているようです。

東日本橋二丁目町会

これがお江戸の粋と風情！文化の薫り漂うまち

東日本橋二丁目町会会長 浅野雄悦さん

東日本橋二丁目町会では、お江戸の粋と風情を今に受け継ぐまちとして、毎年秋に美しい月を眺める「観月会」を催しています。観月会は、九月か十月の



薬研堀不動産にて浅野さん(左)と事務局の酒井さん

土曜日に行列、今年で二十九回目となります。この行事は、会員の「ミニゲーム」を深める目的のほか、「中秋の名月」を愛でる行事を通じて、新しく住民となられた方の心の共有を図りたいという町会の期待がきか

このように、江戸文化とつながりがある地域を訪れるイベントを行うために、事務局が事前に現地を訪れ資料を収集し、そのまちが江戸文化とゆかりのあるまちなのか、また、皆さんに心かか

さんこの言葉を裏付けするのが、平成15年に、江戸開府四百年と日本橋架橋四百年を記念して行われた「船渡御」です。神田祭の最中に、実に約四百年ぶりに隅田川と神田川にて実現しました。昔から神田祭の行をもてなし続けているまちですから、自分たちも、江戸開府四百年にふさわしい行事を行いた

「観月会」は、江戸の粋と風情を今に受け継ぐまちとして、毎年秋に美しい月を眺める「観月会」を催しています。観月会は、九月か十月の

日本橋浜二丁目町会

まちのみんなで守り伝える！心をつなぐ地元の音頭

日本橋浜二町会会長 御園生剛資さん

日本橋浜二町会では、地元の音頭である「浜町音頭」を継承する浜町音頭保存会の活動を支援しています。「浜町音頭」は、昭和四年に浜町公園の落成を記念してつくられた、粋で優雅な踊りです。会長の御園生さんは、浜町音頭の魅力は、日本舞踊の優雅さを兼ね備えた踊りであること、踊りの手が難しくして簡単に踊れないこと、まちの地



町会長の御園生さん(右)と保存会会長の福田さん

大会は、夏の風物詩として年々盛大になり、東都随一の音頭会となりました。戦争による中断があつたものの戦後、まちの繁栄と人々の娯楽、そしてようやく訪れた平和を祝うことを目的に復活しました。御園生さんは、「わたしが子どもの頃の盆踊り大会は、歩くにもなかなか前に進むことができないほどにぎわいで、明治前期は盆踊り大会は、昭和三十年代でしう」と回想されます。その後、踊りの先生の転居による練習の長期中断があり、習得が難しい複雑な踊りのために、浜町音頭が途絶えかけたときに、まちの音頭をなくすな」という声が上がりました。浜町音頭がまちの人々の心をなぐ架け橋となり、まち全体での踊りを受け継いでいきたいと思います。

「観月会」は、江戸の粋と風情を今に受け継ぐまちとして、毎年秋に美しい月を眺める「観月会」を催しています。観月会は、九月か十月の